

高石市教委交渉【要求書関係】

子ども達に最善のものを

働きがいある職場のために

泉北教組は、高石市教育委員会と「教育要求書」及び「障害児教育に関わる要望書」に基づき、来年度予算等要求の交渉を11月19日に行いました。

主な回答は以下の通りです。

【(1)すべての教室にエアコンを設置すること。特にすべての支援学級への設置を急ぐとともに、クラス増に伴うエアコン設置を速やかに行うこと。また、集中管理の不具合やスイッチ類のいたみなどへのメンテナンスを行うこと。】

【回答】
すべての支援学級にエアコンは必要と認識している。

平成26年度は、小学校の支援学級にエアコンを設置した。

市教委として、エアコン設置の構想はある。

スイッチ類などの部分的な修繕は学校配当予算で対応いたきたいと考えているが、一括予算での対応が必要なものについては、財政状況を踏まえて、今後の課題とする。

【(2)トイレの改善ならびに改修について必要な予算措置を行い、特に洋式トイレを設置すること。また、教職員専用のトイレの確保に努力すること。】

【回答】
各校の洋式トイレ設置割合は次の通りである。

高石小28%、羽衣小50%、高陽小31%、取石小2%、加茂小28%、清高小16%、東羽衣小7%、高石中25%、高南中40%、取石中37%

洋式トイレ設置促進についての必要性は認識している。

学校現場の声を聞きながら、洋式トイレ設置の手法を検討してまいりたい。



【(3)各校の消耗品費、備品費を増額すること。また、紙代・などをPTA予算・学級費等で負担しないよう各校を指導すること。】

【回答】
消耗品費予算の確保に努めてまいります。

各校への予算配当の確保に努めてまいります。

消耗品予算が足りないときは、市教委に相談してほしい。

【(4)小・中学校の35人以下学級の早期実施を国、府に働きかけること。】

【回答】

今後適切な機会に府や国に対して早期実施については、はたらきかけ

をしてまいりたい。

高石市では、「実質41人以上」学級は、2小学校、2中学校で発生。

財務省発表の小学校1年生を40人学級に戻すことについては、市教委として反対である。

【(5)「教職員の評価・育成システム」の撤回を市教委として求めること。とりわけ「評価結果の賃金リンク」撤回を。】

【回答】
市教委としても、教職員の資質向上は必要であると考えております。

システム運用の問題点は、相対評価を入れないこと、授業アンケートの実施は1回のみなどの

ことを府教委に機会あるごとに伝えている。

【(6)「全国学力・学習状況調査」の中止を国や府教委に求めるとともに、同調査に参加しないこと。また、序列化につながる学校別の正答率結果公表を行わないこと。】

【回答】
各学校へは、参加をお願いしています。

学校別の正答率結果公表につきましては、現時点においては考えておりません。

小学校6年生、中学校3年生以外へのテスト実施は考えていない。

【(7)「安全衛生委員会」を、15年度には市で必ず設置すること。また、立ち上げる時期を明確にし、そのための泉北教組との協議を直ちに行うこと。】

【回答】
次年度設置を目標に、今後とも引き続き設置に向けて努めてまいりたいと考えております。

勤務時間管理簿（試行）実施については、再度管理職に徹底する

ボランテニア配置は増員を考えている

障教部関係

各職場からの切実な増員要求に対して、「ボランテニア配置は増員を考えている」との回答がありました。

ボランテニア配置は

増員を考えている

また、施設、設備についての要求では、「タブレットの必要性は認識している。予算獲得に向け努力している」との回答がありました。